



喜多埜

大阪市のはなし

今月二十七日に、大阪府・市の首長を選ぶ同日選挙が行われますが、報道でもよく耳にしますように、現・大阪府知事は大阪市役所をぶつ壊すと過激な表現で、聴衆の耳目を集め、対して現・大阪市長は大阪市を独裁者から護ると、舌鋒激しくやりとりされています。

その渦中の大阪市ですが、そもそも、現・大阪市の母体となったのは、江戸時代に**大坂三郷**と呼ばれた、北組(現・中央区)、南組(現・中央区)、天満組(現・北区)の三郷を、明治元年前後に大阪府の管轄下で再編され、その後いくつの変遷を経て、**明治二十二年(一八九九)**に市制施行され、**大阪市が誕生**。その九年後の明治三十一年に大阪府の管轄からも独立し、政令都市・大阪市となりました。

その後、地域の拡大があり、大阪港の改修、交通網の整備を経て、**大正十四年**に周辺の町村を取り込んで、人口で日本一、面積でも世界第六位の大都市となり、この頃の大阪市を当時は俗に「**大大阪**」と呼びました。

大阪市の解体があるかどうかは、今度の選挙の結果次第でしょうが、大阪市歌にも「**務めぞ重き大阪市**」とあるように、大阪市でなければ出来ない事も歴史を鑑みればあったようにも感じます。しかし、今後の国際競争力を考えると、府と市が力を併せていかなければならないのも事実です。今度の選挙は府民・市民ひとりひとりの**一票がとても重い**ものである事を我々有権者は自覚しなければなりません。

七五三のご案内

当神社 御本社(神山町)では七五三のご祈祷を受付けております。まずはお電話でご予約ください。

七五三は数え年で計算します。

- ・三歳 平成廿一年生(丑) **女児**(又は男児)
 - ・五歳 平成十九年生(亥) **男児**
 - ・七歳 平成十七年生(酉) **女児**
- 御本社 06-6366112887

雲海

この十一月は雲海の季節として、写真家や登山家の方にとっては**山に登る楽しみが増える季節**でもあります。

雲海そのものは、湿度が適度にあり、放射冷却によって冷えた地面に、気温差が激しい日などの**気象条件さえ揃えば**、どこでも発生しますが、多くは風で流されてしまい、ただの霧となってしまう。しかし**山間部や盆地**では雲が流れていきにくいので、雲海という特異な光景が広がるそうです。

雲海そのものは太古から発生していたので、文献上の初見を確かめる事は難しいですが、『**日向国風土記逸文**』に「**二二ギノミコト天の磐座を離れ天の八重雲を排して稜威の道別きに道別きて日向の高千穂二上の峯に天降りましき**」と天孫降臨のくだりがあり、この**高千穂や九州南部は雲海の名所**でもある事から、古代の人々は雲海の上に高天原があると感じていたのかもしれないという説もあります。

近畿においても、奈良県南部や丹波篠山の方では比較的雲海の発生しやすい地域であり、この時期、山々は多くの人で賑わいます。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

